

小松教育事務所管内 タウンミーティング

11月7日(日) 能美市辰口福祉会館 交流ホール

子どもたちの生きる力を育むつどい in 南加賀
「GIGA スクール構想の実現～学校・家庭での ICT 活用の在り方～」



最近の教育を取り巻く環境は、家庭や地域社会の教育力の低下、子どもたちの規範意識や公共心の欠如、児童生徒の学力低下など、様々な教育問題に直面しています。

こうした問題を解決していくためには、学校や教職員が一層の努力をすることはもちろん、県民一人一人が改めて教育問題について真剣に考え、学校、家庭、地域社会が一体となって、子どもたちの豊かな心や健やかな体の育成と確かな学力の向上に努めていくことが重要です。石川県では、教育について県民全体で考える気運を盛り上げる契機として、11月1日を「いしかわ教育の日」また、教育の日にふさわしい取組を集中的に展開する期間として、11月1日から7日までを「いしかわ教育ウィーク」と定める条例を平成17年3月に制定しました。

(「いしかわ教育の日～学校・家庭・地域社会のさらなる連携に向けて～」より)

さて、国の「GIGA スクール構想」により、石川県においても令和2年度に全ての公立小・中・特別支援学校で1人1台端末や高速大容量のネットワーク環境が整備され、ICTを活用した教育環境が急速に進みました。「教員がICTを使って教える授業」から、「児童生徒が1人1台端末を使って学ぶ」授業へと大きく転換が求められています。1人1台端末を効果的に活用し、学力向上につなげるために、これまで以上に教師のICT活用指導力が求められています。また学校と家庭が連携を密にし、家庭での有効な活用についての共通理解を図る必要があります。

今回のタウンミーティングでは、GIGA スクール構想の意義を理解し、学校での効果的な活用や家庭での活用の在り方・考え方について、皆様とともに考える機会をもちました。

◇ 開会挨拶

石川県教育委員会小松教育事務所 所長 向出 章

◇ 講演

「GIGA スクール構想の実現～学校・家庭での ICT 活用の在り方～」

北陸学院大学 人間総合学部 子ども教育学科 教授 村井 万寿夫 氏

～講演より～

2021年…「GIGA スクール元年」とも言われている。

日本の1人1台端末→世界の中でも先端を行っている。

個別最適な学び + 協働的な学び

興味・関心に応じた学び
理解を深めたり広めたりするために使う

異なる考えに触れる学び
新しい解や納得解を得るために使う



【学校の授業での活用】

学びを促進するICT活用…**一斉学習**・**個別学習**・**協働学習**



必要感を子どもに持たせられるように!!

情報モラル…計画的・具体的に授業の中で行う。

小中連携（ルール等）もしていけるとよい。



【学校と家庭との連携】

活用について…・導入の理由

・使い方やルール

定期的に更新した内容を伝えていく

授業について…・授業の様子

・子ども達の反応

具体的な活用の姿を発信していく
(写真や動画を端末やHP,オンラインで)

持ち帰りについて…・持ち帰りの理由

・保護者の関わり方

・想定トラブルと対処

「何のために持ち帰るのか」という目的を共有しておく
基本的には、子ども1人でできる内容
安心⇒家庭の理解



全ての子ども達の可能性を引き出すために、学校・家庭で連携しながらICT活用を進めていきましょう。

～参加の皆様からの感想～

- ・私の子どもの頃の学びと今の時代の子どもの学びの違いが驚いた。昔を否定するわけではないが、今の子ども達がいろんなことを楽しく学んでいければと思いました。ICTの活用によって、子ども達が学ぶことに意欲が出てきていると分かりました。
- ・家庭にタブレットを持ち帰った際には、どのような使い方しているのか、声をかけてみてあげることも大切だと感じました。情報モラルについても、ルールを定期的に話し合い、意識しながら使うように学ばせたいです。
- ・ICTを活用して、全ての子ども達の学習に個別最適な学びや、協働的な学びを促進することの大切さを理解することができました。ただ、その際には、授業のねらいに照らしてどのように使うか、必要性・必要感がある場面での活用が大切さだと感じました。せっかく1人1台与えられたタブレット等を子どもの興味や授業のねらいにうまく照らし合わせて活用していき、少しずつ興味が薄れていかなないようにする必要があると感じました。
- ・2021年がGIGAスクール元年という話を聞いて、本当にその通りだと日々感じています。授業でどうやって使うのか、そのために必要な準備や道具、まだまだやりたいこととやれることの差を感じています。生徒にとって、有効だと感じられるような使い方を学校全体で考えていかなければならないと感じました。
- ・コンピューターを使う効果の持続性が短いことや学校がタブレット端末の有用性を発信して、家庭に理解を求めていくことが大切だと改めて感じた。情報モラルについても発達段階に応じて、適宜指導していかなければならないと感じた。
- ・様々な事例の紹介があり、とても参考になりました。3学期の過ごし方（研修等の進め方）が重要であると再確認することができました。計画的に進めていきたいです。